

2022年1月1日

）

2022年12月31日

神奈川大学の アジア研究情報

経済学部

山本 博史（ヤマモト ヒロシ）

（論文）

- ・「タイ国憲法裁判所の変化の兆し」『世界経済評論 IMPACT』No. 2796、2022 年
- ・「政治経済構造により創られたタイの格差問題」『世界経済評論 IMPACT』No. 2476、2022 年
- ・「第 13 章経済発展と格差問題—タイを事例として」小林尚朗・山本博史・矢野修一・春日尚雄、編著『アジア経済論』文眞堂、2022 年
- ・「第五章タイ国家原理の変容—タイ王制と民主主義」泉水英計編著『近代国家と植民地性 アジア太平洋地域の歴史的展開』御茶の水書房、2022 年

横川 和穂（ヨコガワ カズホ）

（論文）

- ・「国家主導ロシア経済における財政の役割」溝端佐登史編『国家主導資本主義の経済学』文眞堂、2022 年
- ・「ロシア北極域の住民生活と地方財政をめぐる問題：サハ共和国のケース」『ロシア・ユーラシアの社会』2022 年 11-12 月号

経営学部

阿部 克彦（アベ カツヒコ）

（その他）

- ・「アラブ圏のイスラーム美術」『イスラーム文化事典』9 章美術 丸善出版、2022 年、pp. 100-104
- ・「コラム：イランから日本へ渡った染織品」『岩波講座 世界歴史』第 13 巻 西アジア・南アジアの帝国 16～18 世紀 岩波書店、2023 年、pp. 257-258

学会発表

- ・“A Newly Discovered Doublet from the Matsura Historical Museum in Hirado” CIETA（Centre International d’Etudes des textiles Anciens）国際古染織研究所
第 29 回国際大会チューリヒ 2022 年 10 月 5 日

泉水 英計（センスイ ヒデカズ）

（著作）

- ・共編著『近代国家と植民地性 アジア太平洋地域の歴史的展開』御茶の水書房、2022 年

（論文）

- ・「米国人歴史家の生きた東アジアの境界領域 ジョージ・H・カーと台湾・沖縄」蘭信三・松田利彦・

李洪章・原佑介・坂部晶子・八尾祥平（編）『帝国のはざまを生きる 交差する国境、人の移動、アイデンティティ』みずき書林、2022 年

- ・「シャー・ツッピー 勃興期レジストロ茶業の光と影」神奈川大学日本常民文化研究所『ブラジル国サンパウロ州レジストロ植民地における民具からみた日本移民の生活史の研究』神奈川大学日本常民文化研究所、2022 年

（その他）

- ・「米国施政権下の戦災校舎復興と国頭村辺戸上原土地開拓事業」斎木喜美子（編）『立ち上がる艦砲の喰い残し 沖縄における教育・文化の戦後復興』関西学院大学出版会、2022 年
- ・Postwar Okinawa and TB Control Caught between the United States and Japan. Association for Asian Studies Annual Conference, Honolulu, 26 March 2022.
- ・「ブラジルの日本人開拓地レジストロー日本民族の移住は成功したのか」比較民俗学会国際学術大会、韓国国立民俗博物館、2022 年 11 月 18 日
- ・American Geographer Transplants Japanese Walking Tractor into Korean Soil: Cold War Rural Research in East Asia as a Carrier of Agricultural Technology. History of Science Society Annual Meeting, Chicago, 20 November 2022.

高城 玲（タカギ リョウ）

（著書）

- ・「北タイの辺境におけるコミュニティラジオという運動—相対化される国民国家と近代」泉水英計編著『近代国家と植民地性—アジア太平洋地域の歴史的展開』御茶の水書房、2022 年、pp. 87-116
- ・Ryoko Nishii and Shigeharu Tanabe (eds.) *Community Movements in Southeast Asia: An Anthropological Perspective of Assemblages*, Chiang Mai: Silkworm Books, 2022 (Chapter2 “Reassembling the Community of Voice: Community Radio in Northern Thailand” pp. 59-91).

田中 則仁（タナカ ノリヒト）

（その他）

- ・「本田宗一郎 遺訓との邂逅」（調査報告）『ニューズレター』No. 17、2022 年、pp. 6-7、アジア研究センター
- ・「国際経営 in シンガポール」（公開講演会記録）『国経研だより』No. 73、2022 年、pp. 1-2、神奈川大学国際経営研究所
- ・「ボーダーを考える」（巻頭言）『国際経営フォーラム』No. 33、2022 年、pp. 1-3、神奈川大学国際経営研究所

廣田 律子（ヒロタ リツコ）

（論文）

- ・「疫病退散祭祀における神兵の役割—中国に居住するミエン・ヤオと周辺の事例から—」『東アジア比較研究』第 21 号、東アジア比較文化国際会議日本支部、2022 年、pp. 22-50

（研究ノート）

- ・「研究ノート ミエン・ヤオの歌文化の研究（Ⅰ）—『大歌書』に見える恋の歌と神話—」神奈川大学経営学部 17 世紀文学研究会『麒麟』第 31 号、2022 年、pp. 115 (66) -138 (43)

国際日本学部

中林 広一（ナカバヤシ ヒロカズ）

（研究ノート）

- ・「『文化』も流動的であること」について ―文化史をめぐる断片とその綴集』『神奈川大学アジア・レビュー』9号、2022年、pp. 94-108

(その他)

- ・「江戸末期～明治期華僑関連絵画集成稿」『非文字資料研究』25号、2022年、pp. 129-252

松本 和也 (マツモト カツヤ)

(論文)

- ・「太平洋戦争期におけるフィリピン・ルソン宣撫工作 ―石坂洋次郎「マヨンの煙」』『立教大学日本文学』128号、2022年、pp. 13-26
- ・「現代美術として京都学派を再演する ―ホー・ツーニエン《ヴォイス・オブ・ヴォイド ―虚無の声》(2021)」『人文研究』207号、2022年、pp. 1-36

建築学部

山家京子 (ヤマガ キョウコ)

(論文)

- ・上野正也、山家京子、松本安生「横浜市郊外住宅地における愛着・思い出のある場所に関する考察―地域資源の発掘と発信に関する実践的取組を対象として―」『住宅系研究報告会論文集』17 (日本建築学会)、2022年、pp. 145-152

(その他)

講演

- ・横浜のまちづくりと公共建築、横浜市公共建築 100 周年事業 よこはま建築ひろば シンポジウム「これまでも、これから、横浜らしく」(横浜、2022. 11)

調査報告書

- ・山家京子、上野正也、遠藤啓吾『コロナ禍における地域交流イベントに関する調査報告書―横浜市内の郊外団地とエリアマネジメント地区に着目して―』(2022. 3)